



福島県南相馬市立原町第二中学校 学校だより第8号 令和4年10月28日(金)  
 発行者:校長 和田節子 TEL (0244)22-4188 E-mail : haramachi2-j@fcs.ed.jp

# からくさ



【教育目標】 自律 探究 協働

【重点目標】 自ら行動し、経験に学ぶ生徒

## 積み重ねた「日常」、圧巻の塔下祭！

生徒達の底知れぬ力を目の当たりにした1ヶ月でした。10月21日に開催した「塔下祭」。合唱コンクール、学級ごとの動画製作、実行委員会による運営…どれをとっても、私たち教職員の想像を遙かに超えていました。特筆すべきは、本番に至るまでの3年生の合唱練習です。自律的、主体的に練習に取り組み、皆で意見を出し合いながら、理想とするハーモニーをとことん追求していました。練習しても練習しても、否、練習すればするほど課題が見つかる。でもどうやってそれを解決していいのかわからない。もがき、あがき、苦しみ続けた日々……。その姿勢は1, 2年生にも影響を与え、全校の熱量が大きく高まっていきました。そして迎えた本番。1, 2年生はリハーサルを大きく上回り、3年生は中学校生活の集大成とも言える圧巻の歌声でした。積み重ねてきた彼らの「日常」を思うと、涙があふれて止まりませんでした。素晴らしい歌声を本当にありがとう。

今年の新企画である「動画による学級紹介」にも驚かされました。発想の豊かさとICT機器を使いこなす技術力の高さに脱帽です。

伝統を受け継ぎつつ、コロナ禍だからこそできることを知恵と努力で生み出し、新しいことにチャレンジしていく生徒達の姿に圧倒された塔下祭でした。



### 入賞おめでとうございます！

- |      |      |                     |
|------|------|---------------------|
| 金賞   | 3年1組 | 「虹」                 |
| 銀賞   | 3年3組 | 「友～旅立ちの時～」          |
| 銅賞   | 3年2組 | 「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ」 |
| 指揮者賞 | 1年2組 | 齋藤優羅さん              |
|      | 2年1組 | 中野颯也さん              |
|      | 3年3組 | 日野岡早紀さん             |
| 伴奏者賞 | 1年2組 | 清水花音さん              |
|      | 2年2組 | 西野釉月さん              |
|      | 3年1組 | 山岸 明さん              |

☆-☆-☆-☆-☆-☆-☆

準備や後片付けにご協力をいただいた保護者の皆様、ご来場いただいたご家庭の皆様にご心より感謝を申し上げます。

☆-☆-☆-☆-☆-☆-☆

## 3年生の姿が大きく見えた

～生徒・保護者の感想より～

### 【1年】

- 初めてゆめはっとで歌ったとき、「今、この瞬間みんなが私達の歌を聞いている」ってすごく実感した。先輩達の歌は力強く、きれいで、鳥肌が立った。来年こそはみんなを圧倒するような合唱をしてみせる！
- 私は前から塔下祭を楽しみにしていて、今日は3年生や2年生の合唱に感動しました。私も先輩達くらいの声を出したいです。本当に楽しかったです。
- 3年生はすごいなあと思いました。声がきれいで、合わさっていたからです。ぼくも来年は今の2年生に負けられないようにしたいです。
- 私たちの見ていないところで実行委員や執行委員の人が頑張っていたんだなあと思いました。

### 【2年】

- 3年生の動画や合唱を聞いて、来年自分たちはこんなことができるのだろうかと思いました。それぐらい3年生の姿が大きく見えました。自分たちは3年生の後を継ぐことができるのかと不安ですが、今までの活動を活かして頑張ります。
- クラス紹介や実行委員の発表では塔下祭を盛り上げられるようにたくさん工夫や努力をした。みんなが笑ってくれて盛り上がったと思う。来年は私たちの時代なので過去一の塔下祭を作りあげられるように頑張りたい。
- 吹奏楽部の発表も先生達のダンスもとっても上手で、永遠に演奏してほしいくらいです。

### 【3年】

- 一秒たりとも無駄にしないように練習を頑張りました。朝も昼も放課後も全力で練習に取り組みました。友達と一緒に歌ったり、教え合ったり、褒め合ったりいろんなことが経験できました。
- 曲決めから今日までの日々は、自分にとってすごく大きな成長だと思います。パート練習ではあまり話していない子と話したり、みんなで協力して歌ったり、上手くなるという思いが日に日に強くなっていきました。本番はどのパートもしっかり聞こえ、心が一つになっているなど歌いながら思いました。
- 練習が進むにつれてたくさん改善点が見つかり、何を直すのがわかってうれしい反面、その量が増えていく一方なので不安でしかなかった。リハーサルでも、パート間でズレが起きていた。僕は歌っていて遅くすべきかどうか悩んだ。
- ソプラノは声が聞こえないと言われてすごく悔しかったです。きついことを言われてもずっと頑張っていたソプラノは本当に強くてカッコいい人達だと思いました。ずっとアドバイスをしてくれた指揮者と練習に付き

合ってくれた伴奏者に感謝です。多分前よりメンタル強くなったと思います。

- 結果は銅賞で本当に悔しかった。先生は誤差だと言ったが、その誤差は。未完なところあるということだと思う。誤差で負けるのが一番悔しい。あと一歩だった3組はもっと悔しいと思う。
- 今までの練習で大変なこともあったけど、それを乗り越えて人と協力することの大切さや頑張った後の嬉しさを感じることができました。いろいろ思うことはあるけど、私の中ではこのクラスが1位だと思うし、一番上手だったと思います。
- 私は動画撮影や編集などの仕事を抱えていて正直辛かったですが、みんなで一つのことに取り組むってこんなに楽しいんだと、改めて感じました。みんなが最後に流していた涙は悔し涙だと思いますが、私は少しも悔しくありませんでした。やる気のない人なんてこのクラスに一人もいなかったし、めちゃくちゃ最高の結果だと思います。一日中歌って、すごい頭痛の日もあったけど、次の日も朝練に遅刻することなく来て、自分ってこんなに頑張れるんだと思いました。
- 高クオリティーを目指し、カメラの撮り方、見やすい編集、全員が写るように、などにこだわりながら動画製作をしました。動画本数48本、合計秒数1時間44分と、めちゃくちゃ大変でした。でも「やりたくない」とは一度も思いませんでした。それは、一つ一つの動画が本当に面白くて、クラスの雰囲気がよくて、編集しててすごく楽しかったからです。
- 先生へのサプライズがありました。私は本当にいいクラスだなと思い涙が出ました。気がつけば周りも泣いていて、先生も泣いていました。改めてこの仲間と金賞をとって、動画を作れてよかったです。
- 男女の声量のバランスや、入るタイミングがずれたりして上手くいかなかったこともたくさんあったが、最終的には先生のアドバイスのもと上達することができた。中学生生活最後の合唱は悔しい結果ではあったけど、3-3で「友」を歌えて、私はとても幸せでした。
- クラス動画や合唱など、それぞれが得意な分野で活躍することができ、他人を認める姿勢がクラス内に広がっていくととても良い経験をすることができた。

### 【保護者】

- クラスごとに気持ちを一つにし、目標に向かって頑張った姿が合唱に現れ、心に響きました。
- どの学年も一生懸命練習した成果が出ており素晴らしい合唱でした。その中でも3年生は声量、男女のハーモニーが美しく圧巻でした。
- 役員さんのご協力もあり、感染対策が徹底されていて素晴らしいかったです。生徒が「日常」というテーマを共有して、主体となって企画運営し、意欲的に参加している様子が伝わってきました。先生方のご協力、関わり方も生徒と一緒にいる様子で素晴らしい学校だなと感じました。